

那須純郎編輯

中等修身讀本

卷二

175
6
218

東

大日本教育會書籍館

函架一號

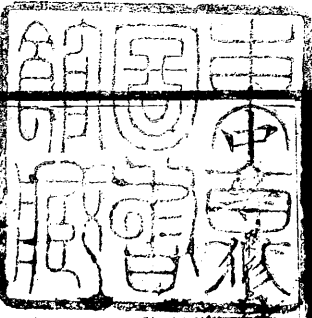
一	一	一
〇	五	四
六	號	架
冊		函

K110.1
108
2

明治十六年四月開雕

中等脩身讀本

敢進堂藏梓



讀本卷之二
藤澤南島著
天合齋齋生

校閱 那須純一郎 編

○夫レ人ト生レテ邪正順逆表裏先後終始ノ此十事ヲ能ク知ル者ハ則チ今日ノ神ナリ。此十事ヲ辨ヘザレバ神德ノ純正ナルモノヲ知ルコトナシ。孝靈天皇勅
○學者ノ弊ハ古ヲ慕フテ今ヲ譏リ異國

ヲ貴ンデ。我國ヲ鄙シム。凡ソ學ハ已レノ
爲メニスル所以ナリ。我國。今日ノ風俗ニ
從ガビ。學ビズンバ。亦タ何ゾ益アラシ。是
レ。學者ノ心ヲ用フベキ所ナリ。修身訓
○善ノ善ナルヲ知レドモ。其善ヲ勉メ行
フコト能ハザルハ。未ダ能ク其善ヲ知ラ
ザルナリ。惡ノ惡タルヲ知レドモ。其惡ヲ
止ムルコトナキハ。未ダ能ク其惡ヲ辨ヘ

ザルガ故ナリ。藤良房

○欲ニ克ツニ。剛ヲ以テスル。須ラク猛將
ノ敵ヲ鑿ロシニスルガ如クナルベシ。人
能ク此ニ從事セバ。何ンゾ已私ノ克チ難
キコトカ之レ有ラン。凡ソ講學ノカヲ得
ル者ハ。已レノ私欲ニ克ツト。過チヲ知テ
能ク改タムルニアリ。慎思錄
○凡ソ。一切淫亂ノ原。多クハ。酒ヨリ起ル。

故ニ飲ム可ク。耽ル可カラズ。世人酒ヲ嗜
シミ。厭クコトナク。曠蕩ヲ以テ達識トシ。
杯ヲ銜ムヲ以テ高致トシ。遂ニ形骸顛倒。
禮法廢亂。坐ヲ罵リ。街ニ卧シ。親ヲ凌ギ。上
ヲ犯シ。能ク士ヲシテ名ヲ敗リ。農ヲシテ
疇ヲ荒シ。商賈ヲシテ資ヲ喪ハシム。劉氏論譜
○益者三友。損者三友。直ヲ友トシ。諒ヲ友
トシ。多聞ヲ友トスルハ益ナリ。便辟ヲ友

トシ。善柔ヲ友トシ。便佞ヲ友トスルハ損
ナリ。論語

○家ヲ御スルニ。四ツヲ以テ教フ。勤儉。恭
恕ト。夫レ勤ナレバ。功アリ。儉ナレバ。用ヲ
足シ。恭ナレバ。侮ラズ。恕ナレバ。怨ミナシ。
此ノ四ノ者。一ヲ缺ク。一ヲ得ズ。名門右族
モ祖先ノ勤儉恭恕ニ由リ。以テ之ヲ成サ
ザルハナシ。子孫ノ怠頑奢傲ニ由リ。以テ

之ヲ敗ラザルハナシ。故ニ家ニ教フル者

ハ。恩ヲ以テ義ヲ廢スベカラズ。穀詒集

○今ノ世ノ人。學問スルハ。皆ナ書籍ノミ

集メテ昔ノアトヲナガメテ。終ニ發明ノ

物ナシ。是皆外ノカザリニシテ。心ノ

爲メニセズ。聖賢ノ戒メモ用ヒ又故ニイ

ツトナク。アサマシキフルマヒ多シ。久明親王

○毫釐モ君ヲ蔑シロニスルノ心アル者

ハ。亂臣ナリ。芥蒂モ親ヲ遺ルノ心アル者

ハ。賊子トナル。故ニ人正シキニ居ルヲ志

ガシ。思ヒ邪シマナル無シ。神皇正統記

○容貌ハ。人ノ符表ナリ。符表正シキ故ニ。

情性治マル。情性治マル故ニ仁義存ス。仁

義存スル故ニ盛徳著ハル。中論

○天ノ未ダ。陰雨セザルニ迨ビ。彼ノ桑土

ヲ徹リテ。牖戸ヲ綯繆ス。詩經

○世ノ人多ク藝ヲ好ミテ。學問ヲ好マズ。藝ハ譬へバ。木ノ枝葉ナリ。學問ハ譬へバ。木ノ根本ナリ。根本ヲ務メズシテ。枝葉ヲ務メ。本ヲ棄テ。末ニ專ラナルハ。僻事ナリ。道學ナケレバ。藝多クシテモ。根本立たズ。君子トスベカラズ。又技藝ナケレバ。事ニ通ゼズシテ。其徳ノ助ナシ。野人ト謂フベシ。大和俗訓

○凡ソ物。小破ノ時。修理ヲ加ヘシコト。人事ノ急務ナリ。大破ニ及ビテハ。遂ニ修ムルヲ能ハザルヲ多シ。秦時

○已レノ長ヲ以テ。人ノ短ヲ形ハス。母レ。已レノ拙ヲ以テ。人ノ能ヲ忌ム。母レ。○徳ハ才ノ主。才ハ徳ノ奴ナリ。才アリ徳ナケレバ。即チ。家ニ主ナクシテ。奴ノ事ヲ用キルガ如シ。猖狂敗壞セザルヲ無キナ

傳家寶紳繪集

○ナベテノ人ノ神明ヲ信敬シ侍ルハ皆
已レガ用アリテ爲ス所ナリ。是レ神明
ノ心ニカナハジ。譬ヘバ。人ノ親ニ事ヘヌ
ルハ。天地ノ常ニシテ。是レ固有ノ徳ナリ。
貨ヲ受ケ得シガ爲メニ。親ノ心ニ入リヌ
ルヤウニ事ヘ侍ルハ。孝行ニ非ズシテ。
カヘリテ。親ノ心ニ違フノ元ナリ。唯神明

ノ其心ノ清キ所ヲ思ヒ。其誓ヒノ廣キヲ
ヲ思ヒテ。已レモ。カクノ心ニ移リ侍リテ
ナド。思ヒトリヌルバカリナルベシ。藤道平
○容貌辭氣ハ。徳ノ符ナリ。一切ノ容儀。皆
ナ能ク淑慎。人ヲシテ望ンデ。我が輩ノ人
タルヲ知ラシム。方サニ始メテ實學ナル
ヲ見ルベシ。劉氏人譜

○善ヲ爲スハ。重キヲ負フテ。山ニ登ルガ

中等修身讀本 卷之二

如シ。志已ニ確シト雖。力猶ホ及バザル
ヲ恐ル。惡ヲ爲スハ。駿馬ニ乘リテ坂ヲ走
ルカ如シ。鞭策ヲ加ハヘズト雖。足亦々
止ムヲ能ハズ。省心雜言

○志立タザレバ。天下成ルベキノ事ナシ。
百工技藝ト雖。未ダ志ニ本ヅカザル者
アラズ。志立タザレバ。舵ナキノ舟。銜ナキ
ノ馬ノ如シ。漂蕩奔逸。何ノ底ル所アラン

ヤ。王陽明

○世ニ奢ト備トノ別アリ。知ラザル可カ
ラズ。費ヲ省キ。用ヲ節シ。以テ有用ノ具ヲ
蓄フ。之ヲ備ト云フ。是人ノ善行ナリ。匹
夫ニシテ。貴人ニ擬シ。不急ノ翫具ヲ飾リ。
衣服飲食ノ費ヲ爲ス。之ヲ奢ト云フ。是
我が大ニ惡ム所ナリ。徳川家康
○凡ソ。都鄙ヲ論ゼズ。同シ。鄉村ニ住居ス

ル人ハ。先祖以來。常ニ行キ通ヒ。互ニ久シク。馴習スレバ。其筋目。尤モ忘ルベカラズ。假令ヘバ。他國ニ在リテ。我が故郷ノ人ニ逢ハズ。最ト懐ツカシク。親族ノ思ヒヲナスベシ。是ニテ同ジ郷村ノ人ハ。常ニ疎略ニスベカラザル事ヲ知ルベシ。如何ナレバ。今ノ世ノ人。一旦ノ怒リ。又ハ僅カノ欲ニヨリテ。日頃ノ好ミヲ忘ル、ニヤ。或ハ

田宅ノ界ヲ争ヒ。或ハ金銀ノ債ヲハタリテ。雙方怒ヲ起シ。遂ニハ。公事訴訟ニモ及ブホドニ。一郷ノ騷キトモナルハ。尤モ歎カシキナリ。六論行義大意

○天道ハ。満ルヲ虧ヒテ。謙ニ益ス。人道ハ。満ルヲ惡ンデ。謙ヲ好ム。易經

○今ノ世ノ人ヲ見ルニ。書ヲ讀ミテ。藝トスル人ハアレドモ。未ダ已レガ。行ヒトス

ル人ヲ見ズ。アサマシキコトニアラズヤ。
○勇ヲ外ニ見ハサズシテ内ニ含ムベシ。
尊傳法親王
常ノ時ハ和樂ニシテ人ニ對スルニ溫厚
ナルベシ。勇天下ニ掩ホヘ氏之ヲ守ルニ
怯キヲ以テスト。家語ニ云ヘル如クナル
ベシ。怯トハ臆病ノ事ナリ。又大勇ハ怯キ
ガ如シト云ヘリ。是外ニ勇ヲ見ハサズル
ナリ。和順ニシテ禮アレバ人侮ラズ。人ニ

侮ラレマジトテ。言語氣象ヲ荒ラ、カニ
スベカラズ。是和樂ヲ失ナヘルナリ。真
ノ勇者ハ顔貌荒ラ、カナラズ却テ柔和
ナリ。樂訓

○凡ソ人ノ爲ス所。輒チ意ノ如キヲ。順境
ト謂フ。爲ス所動モスレバ。齟齬スルヲ。逆
境ト謂フ。順境ハ意ヲ快クシ。以テ人ヲ壞
アル。逆境ハ人ヲ苦シメ。以テ益アリ。松栢

霜雪ヲ經ザレバ。堅固ナルヲ能ハズ。識アル者。逆境ニ遇ヘバ。學力進ミ。識ナキ者。逆境ニ遇ヘバ。節ヲ失フ。畜徳録

○古語ニ。病ハ口ヨリ入リ。禍ハ口ヨリ出ヅト云ヘリ。言ヲ慎ミテ。叨リニ。口ヨリ出サズレバ。禍ナシ。飲食ヲ慎ミテ。叨リニ口ニ入レザレバ。病ナシ。病ト災トノ出クル事ハ。天ヨリ降ルニアラズ。皆ナ口ヨリ起

ルト。古人云ヘリ。口ノ出シ入レ慎シムベシ。大和俗訓

○言ヲ慎シミ。輕發スルヲ勿レ。輕發スレバ尤ヲ招ク。言ヲ出ス。宜シク厚クスベシ。行ヒ悔ヒ寡キヲ欲セバ。宜シク規矩ニ中ツベシ。事ニ臨ンテ。再ビ思ヘバ。始メテ過舉ナシ。貧富貴賤ハ。分一定アリ。分ニ過レバ。禍ヲ招ク。能ク之ヲ守ルベシ。盛ニナレ

口金仙傳卷之三
バ。愈盛シナランコトヲ求ム。何ノ時カ方
ニ足ランヤ。貧レバ則チ害之ニ随フ。足ル
ヲ知レバ。則チ辱ナシ。友一倫ニ屬ス。交リ
ヲ擇ベバ。益ヲ受ク。妄リニ匪流ニ結ベバ。
後悔スルモ及ブコトナシ。氣一時ニ動ケバ。
禍端即チ伏ス。若シ能ク強忍セバ。禍ヲ轉
ジテ福ト爲ス。惺齋

○禮義ハ人ヲ治ムルノ大法。廉耻ハ人ヲ

立ツルノ大節。廉ナラザレバ。則チ取
ル所ナシ。耻アラザレバ。則チ爲ザル所
ナシ。禍敗亂亡亦從テ至ル。顧炎武

○皆ナ人寶ヲ好メリ。其寶ニ三品アリ。上
品ノ寶ハ善人ナリ。中品ノ寶ハ金銀ナリ。
下品ノ寶ハ珍器ナリ。今ノ世ハ珍器ヲ以
テ最上品トシ。金銀之ニ次ギ。善人ハ下品
ノ下ニシテ。人敢テ顧リミルナシ。哀シム

ベキナラズヤ。管長益

○八咫鏡ハ天祖ノ聖心ナリ。天ヲ窮メ照臨シ。一塵ヲ留メズ。明ト謂ハザル可ケンヤ。直ト謂ハザル可ケンヤ。正ト謂ハザル可ケンヤ。皇國ノ人タル者。謹デ其徳ヲ仰クベシ。石田興長

○國家ノ法令ハ。謹ンデ之ヲ守リ。敢テ犯スコト勿ル。是レ亦タ親ニ孝ナルノ一端

ナリ。童子習

中等修身讀本卷之二 終

ト辛修身讀本 卷之二

弘通書肆

明治十六年一月廿三日
全 年 二 月 月

版權免許
發行價六錢五厘

同年五月三十日製本改式御届

編輯人

那須純一郎

出版人

湯上市兵衛

兵庫縣士族

大坂府平民

當時大坂府南區須慶町二丁目
九番地寄留

大坂府南區須慶町三丁目
六十番地

弘通

書肆

大忍齋橋二丁目
大坂北久太郎町
大坂 順慶町
西京二條堀川
東京 桶町
大坂北濱三丁目
熊本下通町

松原村 文海堂
柳原村 積玉圃
那須原 探海堂
井上 兵衛堂
東 崖 治兵衛堂
東 崖 治兵衛堂
細流 崖 治兵衛堂

那須純編輯

中等修身讀本

卷三

175
6
218

大日本圖書會館			
一	〇	四	一
六	五	四	八
册	號	架	函

函架一號

K110.1
108
3